

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年4月2日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694500028
法人名	社会福祉法人 建昌福祉会
事業所名	グループホーム西始良ほほえみ
所在地	鹿児島県始良市西始良1丁目39番32号 (電話) 0995-73-7855
自己評価作成日	平成28年3月7日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成28年3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者のこれまでの暮らしぶりが入居した後も継続できるように支援することを大事にしている。

たとえば、これまで行きつけであった病院やお店、美容室。行き来のあった友人や近所の方々、民生委員をはじめとした協力者との関係性は、本人のこれまでの暮らしの中から築き上げられた重要な財産であるといえる。これらは、グループホームに入所したからと言って途絶えるものであってはならない。また私たちが無意識的に断ち切ってよいものでもない。関係性を継続させることや過剰な管理・無駄な制限を取り払う努力をしていくことで、私たちが掲げている理念「毎日を生きがいを持ってその人らしく」に近づけると考える。

日々の暮らしの中で、これまで行ってきた生活行事である味噌作り、そば打ち、しめ縄作り、門松作りなどの作業を通して、人に自分の体験や技術を伝えるということが、「役割」や「やりがい」を感じてもらえる機会となり得る。これらも理念の具現化につながるのではないかと取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

始良市郊外の大型団地に立地し、ホーム周辺には小学校、児童クラブ、グラウンドゴルフ場があり、日常的に子供たちや住民の声、学校のチャイムの音などが聞こえてくる良好な環境のグループホームである。法人は始良市各地に保育園・学童保育・養護老人ホーム・在宅ケアセンター・小規模多機能ホーム・障害福祉サービス等の事業所を運営して始良市の福祉の一端を担っている。地域の理解と協力のもと開設時より自治会にも加入しており、利用者也グラウンドゴルフや地域の運動会・夏祭り見学、回覧板を届けるなど良好な関係を築いている。

外出の機会も多く、日常的にはホーム周辺の散歩やドライブ、テラスでのお茶や外気浴、家族の協力をもらいながらの個別の外出や一時帰宅、外泊、また、季節の花見、初詣、地域運動会、夏祭り、駅伝応援、おはら祭りなどにも出かけてホームに閉じこもらない楽しみのある生活を支援している。また、おはら祭りは法人の踊り連で毎年参加している利用者もあり、生きがいにもなっている。家族や友人知人、孫、ひ孫、職員の子供たちの来訪も多く、離れて暮らしていても絆が途切れることのないように介護計画に家族が担当者となっている支援も取り入れて関係継続の支援に取り組んでいる。

開設して3年が過ぎ、業務におわれる日々ではあったが開設時からの職員も定着しており、管理者・職員はしっかりとした目標をもって更なるサービスの質の向上を目指しているグループホームである。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、朝礼時に読み合わせを行っています。検討会等の際に念頭に置き話をするようにしております。	理念は毎朝読み合せをし、ミーティング等でも確認する機会を設けて共有と実践に繋げている。また「職員の心得10か条」も作成し、質の向上を目指している。理念はホール、玄関、事務所に掲示してパンフレット、重要事項説明書にも明記されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入会させていただき、定期的な回覧版を持って届けるなど顔が見える関係づくりを意識しています。また自治会行事にも参加させてもらっています。	開設時より自治会に加入しており回覧板を届けたり、地域の夏祭りや運動会の見学等に出かけるなど利用者も地域の一員としての交流が行われている。また、小学校や児童クラブとの交流もある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	お年寄りの一般的に言われる徘徊行動に職員が付き合い、地域の中を歩く際に挨拶したり、顔見知りになることで、理解を求めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月ごとに地域の代表者様、民生委員、地域包括の方、市役所の方、学童クラブ管理者にも呼びかけ運営推進会議を開催しています。事業所の取り組みやそれぞれから意見を頂きより一層の質の高いサービスへつながるように生かしている。	自治会長、地域代表者・民生委員・老人会長、児童クラブ責任者、行政等の参加で2ヶ月ごとに開催している。経過報告や入居者状況、ホームの取り組み、自己報告等を行っている。	家族に運営推進会議の案内はしているがこれまでに参加が得られていない状況である。今後は家族にも参加してもらえるような運営推進会議となることに期待したい。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議にはご参加いただき、認知症への理解や一般的にニーズの高い看取りについてもご助言をいただいております。	運営推進会議に毎回出席があり、ホームの実情や取り組みを定期的に伝えている。また、困難事例の相談や報告を密に行うなど協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的には夜間以外は、施錠をせずに、可能な限り利用者の行動に合わせた支援を行っております。また、室内においても、過剰な制限や管理が働かないように、ご家族を含め自由な出入りを意識する等外からの目も意識しております。	法人全体の勉強会やミーティング時に検討する機会を設け、利用者の行動を制限することなく安全で自由な生活を支援している。日中は玄関の施錠はせずに開放的な環境に配慮し、外出する利用者には職員が着いて行き見守っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者様の声や表情、身体の傷などがないか確認すると共に、繰り返される訴えを真剣に受け止めないことも心理的な苦痛を与え虐待にあたることもある事をミーティング等でも話すようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、制度を活用している入居者様はいません。しかし、勉強会等に参加して必要時に適宜利用支援が行えるようにしていきたいと考えています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>制度改正等により内容が変わる場合には、適宜、別紙説明書類を作成し説明にあたっています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>法人単位で年1回、苦情要望の第三者委員を交えた検討会議を実施するように定めており、苦情要望の内訳数値を公表するようにしています。</p>	<p>来訪時や電話連絡時等に家族からは意見や要望を聞き出すように努めている。今後は家族会の充実も検討している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>朝礼やミーティング等で極論も含め、自由な意見を求めている。入居者様という視点で妥当性の高いものを選びながら改善を図っております。</p>	<p>毎月、法人の勉強会や全員参加のミーティングを開催して職員の意見・提案を話し合っている。また、法人全体で働きながらのレベルアップに向けた資格取得の支援も行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>研修会、勉強会、研究会を企画し定期参加を促している。また実践研究発表会を開催し、法人全体の前で取り組みを発表する場を設け、モチベーションアップにつなげております。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	資格取得の支援、OJT、実践研究発表の取り組み、階層別研修に参加をして取り組んでいます。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	ネットワーク会議に参加し、同業者と一つの企画を通じて質の向上と地域連携を目的とした取り組みを実施しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	基本的には、入所前に面談等を積み重ねながら顔見知りの関係を構築するように配慮し、不安や心配の軽減を図るようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の預けてしまったという後悔や申し訳なさを受け止めつつ、ご家族にできることはご協力をもらいながら共にご本人の支援をしていくことで関係づくりにつなげている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族と話をしながら何が当面大事なのかを共に考えながら優先すべきことを決定するようにしている。その際に、他のサービスが必要であればそれを優先する。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の気持ちやタイミングを大事にしながら「できる」ことで貢献してもらえらる機会を作るようにしています。また、できたことに対してしっかり感情に訴えかけるようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との接点はできるだけ多くしてもらうようにしています。必要であれば一緒に泊まってもらうことも承諾しています。比較的家族の来所は多いと思われます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	冠婚葬祭の行事にはできるだけ参加することを奨めています。また、理髪店なども本人を知ってくれているお店にお願いをしています。	家族との関係が途切れることのないようにケアプランにも取り入れて関係継続の支援に努めている。また、一時帰宅や外泊、理美容院・墓参り・冠婚葬祭など家族の協力をもらいながらこれまでの生活やなじみの関係が途切れることのないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間の潤滑油になれるように職員が介入しています。しかし、互いに認知症があり擦れ違いも多くありますので、タイミングやイベントごとなどのアクションも大事にしています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院後、体協になったご家族やや亡くなった後のご家族のフォローを行っています。また、継続的な支援の必要性があればフォローにあたるつもりです。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	検討会の際には、ご本人のこれまでの暮らしぶりの情報を集めると共に、繰り返される言葉や行動から、うまく表現できない本音の部分を探るようにしています。	日常の会話で思いや意向の把握に努め、会話が困難な利用者からは表情や言動、家族や関係者からの情報で本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族からこれまでの仕事や経歴等含め情報収集を行うと共に、これまで支援をされてきた関係機関の持つ情報も大事にして、支援にいかすように努力しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人、ご家族からこれまでの仕事や経歴等含め情報収集を行うと共に、これまで支援をされてきた関係機関の持つ情報も大事にして、支援にいかすように努力しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	特に、居室というプライベート空間で起こりやすい転倒等を鑑み、家族、医師と連携を図りながら室内環境等を改善したり、服薬の調整を行うなど方針を検討している。	本人・家族の思いや希望を取り入れた個別の介護計画を作成している。本人と家族の関わりを重視したプランとなっており家族が担当者になっている支援内容も盛り込まれている。状態に変化がみられれば都度見直しを行い、変化がなくても定期的な見直しを行って現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	排泄関係においては日々の心身状態の変化やBPSDに直結しやすい。記録を振り返りながら排泄の促しや、水分摂取の声かけにつながっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに応じた対応が必要な場合には、できるだけ応じるように努めている。しかしながら、組織化が図れていない面もあり、人的要因や見解の相違を埋めるなどの時間も要している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人一人の属する地域参加や資源活用にはまだまだ十分支援が行えているとは言えない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の定期受診の際には日々の暮らしぶりと直近のバイタルサインの記録を添付し、適切な医療が受けられるように支援している。	本人・家族の希望するかかりつけ医となっている。受診同行は基本家族にお願いしているが本人・家族の状況に応じてホームより柔軟に対応している。家族が連れて行く際は情報提供書を作成している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	緊急時以外の日々の経過については看護職員の見解も参考にしながら定期受診の際に必要な情報が行き渡るように配慮している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院時には、いったん口頭で必要な情報を伝達し、入院手続き等が落ち着いた段階で必要な情報を書面にて提供している。又退院時のカンファレンスに参加させてもらい適切な情報をもとにサービス提供を行うように努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化については、その都度、家族、主治医と話をしながらその時の事業所のレベルを踏まえてできることを伝えるようにしている。しかし、高度な技術を要する状態であったり、医療ニーズが高い状態においては現実的に対応は難しい。	重度化・看取りについては利用者の身体状況に伴って主治医の判断のもと家族と方向性を共有し、ホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。これまでも家族の希望に応じた看取りの経験もあるが、医療との連携を密にした体制構築もホームの今後の課題としている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	ミーティングの中で事故発生時の対応について検討会を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>今年度は消防立ち会いのもと通報訓練を実施と法人全体の避難訓練の実施、運営推進会議の時に避難訓練を見学いただいております。</p>	<p>消防署立会の訓練とホーム独自の自主訓練を行っている。運営推進会議時に行うこともあり地域の方々の参加もある。スプリンクラー・自動通報装置は設置済みで備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄時には、必ずいったん外に出て待つ等の配慮をしています。また、一人で入浴したいという利用者についても、安全を配慮しながら要望に応えるようにしています。	尊厳について一人の人間として自分がされて嫌なことなどを利用者に置き換えて考えるように心がけ、個人を尊重した対応に努めている。業務の中でも気づいたらお互いに注意し合うなど職員の資質の向上に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望に応じるように配慮しているが、まだまだ日課に流された支援の割合が多い。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の強い要望や意向に対してはそれに沿うように配慮しているが、職員側のペースに流されている面も多くあります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者に対して衣類の選択を行う場面もあるが、そうでないことも多いのが実態である。また美容室で白髪染やパーマを充てるなどの事も推奨している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の気分やタイミングによるが、食事に関しては、簡単な手伝いをもらったり、味付けを確認してもらったり、後片付けなどの手伝いをもらっています。	食材をふんだんに使用して栄養バランスのいい家庭的な献立である。味噌づくりやちまき、そば打ち、菜園の管理など利用者にも力を発揮してもらっている。ときには、テラスでお茶を飲んだり、運動会などにはお弁当持参で出かけている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	好みに応じて必要量摂取できるように声かけし、支援を実施している。採血検査時には栄養状態についても主治医と連携を図っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	生活習慣に合わせた支援となっており、毎食後の方もいれば、そうでない方もいるため、個別の事情に合わせている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の能力に応じて、夜間オムツを使用している方も、日中はトイレに座って排泄ができるように支援を行っています。	排泄チェック表を作成して排便状況など健康管理が行われている。日中は職員の誘導でトイレでの排泄を支援している。リスクを考慮してポータブルは使用しない方針で夜間もトイレ誘導を行っている。下着で生活している利用者もあり、維持できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じて運動や食事の工夫など便秘の対策を行っているが、結果として薬に依存してしまう傾向がある。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は午前、午後、本人の希望に応じて楽しめるように配慮しています。また利用者同士で入りたいという希望にも応じています。	週2回程度を基本としているが本人の希望や身体状況に応じて一日おきなど柔軟に支援している。入浴をためらう利用者には声掛けの工夫とタイミングで無理強いすることなく入浴してもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	心地よい休息をとってもらうために室温調整や明るさに配慮している。夜間不眠の方に対しての日中のかかわりが課題になっています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	排便コントロール等に関しては、その日の排便状況等により調整せざるを得ない。職員の連携を図りながら支援を行っています。また薬情の綴りで情報の共有化を図っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	しめ縄、門松、そば打ち、あくまき作り、味噌作り等昔からの生活習慣の中で受け継がれてきた作業を中心として、伝える喜びや役割を感じていただく機会を作っている。子どもの交流は好評である。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的に気分転換を図る意味も含めて、なじみの場所にドライブに連れ出すことは行っている。個別には家族にお願いして外食や法事などに連れ出していただくことをお願いしている。	ホーム周辺は小学校、児童クラブ、グラウンドゴルフ場があり、車の往来も少ないため日常的に周辺の散歩に出かけ、ドライブやテラスで日向ぼっこをしたりとホームに閉じこもらない生活を支援している、ときには、地域の運動会・夏祭り見学、駅伝応援、初詣、季節の花見等にも出かけ、おはら祭りには法人の踊り連で参加している利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	多額なお金の管理は難しいことから数千円単位の少額を持っている。買い物に出かけることもある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の要望等もあるため適宜支援を行っている。又年賀状を出し合い等のつながりを感じてもらえるような支援も実施している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感が出るような装飾を入居者にも手伝ってもらいながら作成して飾っている。	共用空間は広く明るくテラスにも自由に入出りできる開放感がある造りとなっている。台所も対面式で職員は見守りがしやすく、食事の準備の様子や匂いなどは生活感を与えてくれる。ユニット間は自由に行き来できるので夜勤時の職員の不安軽減にも繋がっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関、ホールにソファを置き、気の合う入居者同士が話をされたりくつろいでおられる。廊下にも椅子を置き自由に会話できるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>これまで使用されてきた家具やテレビ、写真など使い慣れた物を持ち込んでもらいそれぞれが好きなように配置し使用していただいている。</p>	<p>パンフレットに「現在お使いの家具や寝具、大切にしているもの、こだわりのものをお持ち込みください」と明記されておりテレビ、ベッド、寝具、手すり、家族の写真やお気に入りの飾り物などが持ち込まれて居心地よく過ごせる居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>玄関の段差と畳の段差が一番大きいものであり、その他はあまり大きな段差はない。玄関では座って靴が履けるように椅子を準備している。トイレ、浴室、廊下など手すりを設置し安全と自立への配慮をしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない